図書館だより

第162号
2024年11月20日（金）発行
茨城県立筑波高等学校　図書委員会

☆酉の市とは

酉の市は１１月の酉の日に、浅草の酉の寺をはじめ関東各地で行われる開運招福・商売繁盛を願う祭りです。江戸時代から続く年中行事で「春を待つ　事のはじめや　酉の市」と松尾芭蕉の弟子其角が詠んだように、正月を迎える最初の祭りとされていました。

酉の日は１２日ごとにまわってくるため、今年は一の酉が１１月５日（火）、二の酉が１１月１７日（日）、三の酉が１１月２９日（金）となっています。

皆さんもこのタイミングで熊手や招き猫などの縁起物を購入し、１年の無事の報告と翌年の福を願ってみてください。

☆図書館利用について

図書館では本のリクエストができます。読みたい本が図書館にない時はリクエストをしてみましょう。

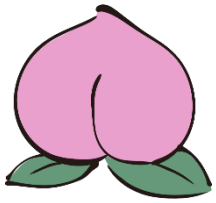
開館時間は、昼休みは１２：４０～１３：１５、放課後は１５：４０～１６：００です。また、昼休みは図書館内で昼食をとることができます。コミュニケーションの場としても利用できますので、ぜひご来館ください。

☆今月のおすすめ書籍

皆さんはエッセイを読んだことがありますか？書き手の実体験をベースに心情や思考を自由に表現した作品をエッセイといいます。作家だけでなく、その他の分野で活躍する人物も多彩なエッセイを刊行しています。著者のリアルな人間性や価値観を垣間見られるのが最大の魅力です。

今月はそんなエッセイのおすすめ書籍を紹介します。ぜひ選書の参考にしてみてください。

ももんかんづめ



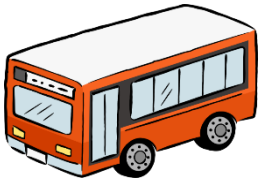
著　さくらももこ

『ちびまる子ちゃん』を世に送り出した漫画家さくらももこの大人気エッセイです。著者の数あるエッセイのうち、初期三部作の一作目として知られています。

著者とその家族の周りで起こった珍事件の数々がユーモアたっぷりに綴られており、読者も共感しやすい生活感あふれる内容が掲載されています。

幅広い年代の方が楽しめるおすすめの名作エッセイです。

深夜特急１　香港・マカオ



著　沢木耕一郎

バックパッカーのバイブルとして親しまれる旅エッセイの傑作です。

２６歳にして仕事をすべて投げ出し、地球の大きさを足で確かめるために旅へ出た著者。まずは香港に降り立ち、陸路で２万キロ離れたロンドンまでバスで向かいます。１年以上にわたるユーラシア大陸放浪の旅を全６巻で語っていくエッセイです。

７０年代にバックパックひとつで海外を旅した著者。今でも多くの読者に一人旅の魅力を伝え続けています。

夜は猫といっしょ

著 キュルZ

猫と過ごす日常をキュートなイラストで巧みに表現した猫エッセイの大ヒット作。
フータのもとに突然やってきて一緒に暮らすことになった猫キュルガ。たびたび猫飼い初心者であるフータの予想を超える振る舞いをするキュルガとの、ほのぼのとした日常が描かれます。
猫飼いならではの「あるある」が満載で、国内外から共感を集めている本作。猫の自由で不思議な生態や、猫と共に暮らす醍醐味が詰まったエッセイです。

あなたの言葉を

著 辻村深月

『かがみの孤城』『ツナグ』の辻村深月が伝えたい「言葉のちから」。人気作家が自らの体験をもとに語りかけるエッセイ集。
毎日小学生新聞に月一で連載していた記事をまとめたものです。子ども向けの優しい語り口でありながら、成長した高校生にもおすすめできる作品となっています。
タイトル通りあなた自身のことばを見つけようというテーマがあります。日々、自分の中で抱えているモヤモヤとしたいうにいわれぬ思いをなんとか整理して、ことばを探してみるとすっきりするかもしれません。

キリンに雷が落ちてどうする

少し考える日々

著 品田遊

エッセイから小説まで、作家品田遊の脳内を覗ける豪華な一冊。
作家でライターの品田遊（ダ・ヴィンチ・恐山）が２０１８年から欠かさず投稿を続ける日記「ウロマガ」（居酒屋のウーロン茶マガジン）。その１６４２日分の投稿の中から厳選した記事を鮮やかな表現でたっぷり楽しめる本作。
短編ばかりなので読みやすく、好きな章から読み進められるため読書が苦手な人でも楽しく読むことができる本です。

☆12 月の図書館開館日

定期テスト１週間前～定期テスト期間、学校行事日は原則図書館休館日です。また、面談期間中は放課後面談の待ち時間中、開館しています。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
12/2 昼〇 放〇	12/3 昼〇 放〇	12/4 昼〇 放〇	12/5 昼〇 放〇	12/6 昼〇 放×
12/9 昼〇 放〇	12/10 昼〇 放〇	12/11 昼〇 放〇	12/12 昼〇 放〇	12/13 昼〇 放×
12/16 昼〇 放×	12/17 面談期間	12/18 面談期間	12/19 面談期間	12/20 面談期間
12/23 冬休み前集会	冬休み			